



2022年10月14日

各 位

上場会社名 黒谷株式会社  
代表者 代表取締役社長 黒谷 暁  
(コード番号 3168 東証スタンダード市場)  
問合せ先責任者 代表取締役副社長 井上 亮一  
(TEL 0766-84-0001)

## 2022年8月期通期業績と業績予想との差異に関するお知らせ

当社は、2022年8月期（2021年9月1日～2022年8月31日）の通期業績におきまして、2022年4月11日に公表いたしました業績予想との差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

## 記

## 2022年8月期通期連結業績と業績予想との差異（2021年9月1日～2022年8月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	79,315	1,266	1,051	638	44.85
実績値 (B)	89,102	862	936	547	38.49
増減額 (B-A)	9,786	△404	△115	△90	
増減率 (%)	12.3	△31.9	△10.9	△14.3	
(ご参考)前期実績 (2021年8月期)	62,058	3,197	2,096	1,353	95.42

## 差異の理由

第2四半期までは、新型コロナウイルスワクチン効果により世界経済は回復基調が維持されたなかで、供給逼迫による好需給環境により当社グループの主力取扱商品価格に影響を与えるロンドン金属取引所（以下LME）銅期中平均円ベースCash価格が右肩上がりで大高となったことから好調な結果となりました。しかしながら、第3四半期に入ってロシアのウクライナ軍事侵攻により想定以上にインフレが加速し、その抑制のための主要中銀の強力な金融引締め政策や中国でのゼロコロナ政策の実施等により景気後退懸念が強まりました。

このような状況から、銅価格は、第3四半期以降急落、LME銅3か月先物価格で2020年11月13日以来の安値（6,955ドル）をつけましたが、LME銅期中平均円ベースCash価格及び販売数量とも予算を上回ったことから売上高は通期業績予想を上回りました。利益では第3四半期以降の右肩下がり下落により利鞘が縮小し通期業績予想を下回る結果となりました。

以上